

小規模校における総合的な学習の時間のモデル開発 —子どもたちによるふるさと祭りと芸能のアーカイブを目指して—

福島県教育センター情報化推進研究チーム 指導主事 島 和宏
jyugyouni_it@ml.fks.ed.jp

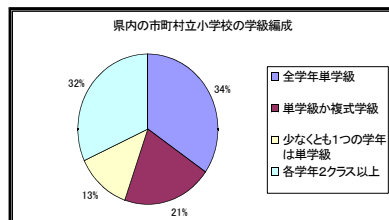
<http://www.center.fks.ed.jp/05ken3/maturi/>

キーワード：情報化推進，総合的な学習の時間，カリキュラム開発，e-Learning

1. はじめに

専門性の高い学習を実施する時、専門家による授業に効果が期待できる。しかし、福島県の全ての学校・学級に専門家が出向いて授業を行うことは難しいと言える。そこで、本チームでは、専門家を取り込んだ学習をコーディネートし、多くの学校に提供するために、ITを活用した授業支援のあり方を研究し、そのモデルの開発を行うこととした。

福島県は、広い県土の中に、地域特有の多様な文化を有している。その地域のよさを子どもたちに気づかせるため、総合的な学習の時間に焦点を当てた。モデルの開発に当たっては、ITネットワークによる学習効果を追求するため、比較的小規模な学校に協力いただき、それらの学校における子ども間の学習交流についても検証していく。

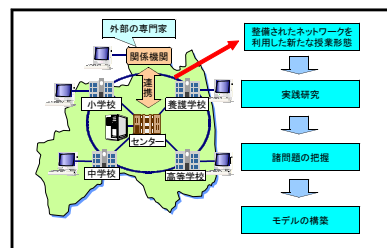


2. 研究の概要

(1) 追究する「支援」の要件

県内の小学校に専門家と連携した授業を提供するには、以下の要件を満たす必要がある。

- 県内の学校すべてに等しく提供できる授業支援であること
- 専門家による指導が効果的に子どもたちの学習につながる支援であること
- 実際に授業を行う教師の主体性を促す支援であること
- 比較的小規模な学校において子どもたちの学び合いを大切にしたい支援であること



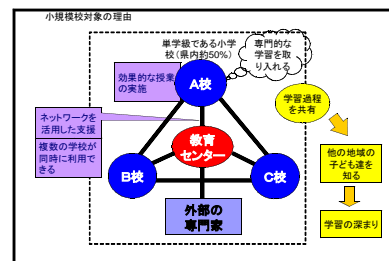
(2) 研究内容

県内の多くの学校が等しく授業支援を受けることができるように、授業を支援するWebサイトを構築する。そして、本チームがコーディネーターになり、専門家の指導をわかりやすく「オンデマンド動画」で視聴できるようにした。

そのWebサイトからは、情報を提供するだけでなく、子どもたちの理解できないことを、専門家に直接質問できるように「掲示板」を設置した。また、比較的小規模な学校の子も同士が交流学习できるようにした。

専門家による指導を可能にする研究ではあるが、子どもたちに直接指導するのは担任である教師である。そこで、教師にはあらかじめWebサイトを見てもらい、指導計画の作成を要請した。さらに、指導を担当する教師間で、指導の方向性について理解を深めるために、専門家と指導者、指導者間の情報交換の場も設置した。

学習が展開すると、互いの学習の状況に違いが出てくる。それぞれの学校の取り組み方を参考にできるように、調べ学習の様子や子どもたちの体験したことをWebサイトに掲載した。



(3) 開発した教材

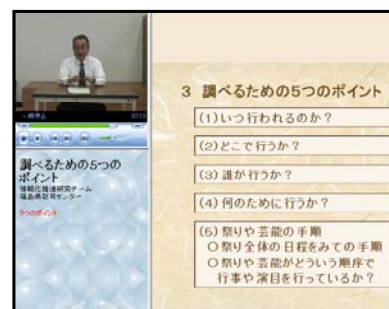
本研究にかかわり開発した教材の詳細を示す。

○オンデマンド教材

専門的な知識・技能を有する外部講師の協力による指導映像と説明や補助画像資料をオーサリングソフト (StreamAuthor2.0) により教材群として開発した。教材はサーバに蓄積し、ネットワークを通して研究校がいつでも学習に利用できるようにした。

○教師用資料

協力を得た専門家から著作を利用する許諾を得て、学習を進める上で参考に



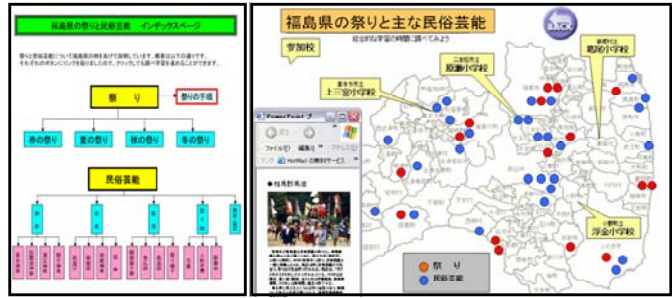
なる基礎的知識や代表的な祭りの説明をまとめた教師への支援教材を作成した。

○子ども用ワークシート

課題の明確化、まとめ方の例示など、オンデマンド教材と連動した子どもの学習ガイダンス・ワークシートをWebサイトから提供した。

○関連資料

福島県内の代表的な祭りや民俗芸能の分布マップや祭りに関連するWebサイトなど、学習に関連する情報をまとめたリンク集を提供した。



(4) Webサイトの詳細

本研究の支援を行うために構築した「Webサイト」の詳細を示す。

No.	項目	内容	説明
1	祭りの説明 (祭りの種類と特徴) (調べるポイント)	祭りの説明、祭りの種類、祭りの特徴、調べるポイント	民俗学の専門家懸田弘訓先生が、祭りと民俗芸能について説明がわかりやすく、調べ学習を進めるための5つのポイントを示しています。
2	各地の祭り・芸能	各地の祭り・芸能の紹介	各地の祭り・芸能の紹介ページです。祭りの種類や地域性について説明がわかりやすく、調べ学習を進めることができます。
3	祭りの説明	祭りの説明	祭りの説明ページです。祭りの種類や地域性について説明がわかりやすく、調べ学習を進めることができます。
4	祭りの時間(資料)	祭りの時間(資料)	祭りの時間(資料)ページです。祭りの時間や地域性について説明がわかりやすく、調べ学習を進めることができます。
5	研究事例の紹介	研究事例の紹介	研究事例の紹介ページです。祭りの種類や地域性について説明がわかりやすく、調べ学習を進めることができます。
6	研究事例の学習計画と学習の様子	研究事例の学習計画と学習の様子	研究事例の学習計画と学習の様子を紹介しています。
7	意見交換・交流のページ	意見交換・交流のページ	意見交換・交流のページです。祭りの種類や地域性について説明がわかりやすく、調べ学習を進めることができます。
8	研究についてご感想	研究についてご感想	研究についてご感想を募集しています。
9	祭りのまとめ	祭りのまとめ	祭りのまとめページです。
10	関係機関の紹介	関係機関の紹介	関係機関の紹介ページです。

1) 民俗学の専門家懸田弘訓先生の「祭り・民俗芸能」の解説

専門家として民俗学者の懸田先生に依頼し、学習の導入として「祭り・芸能」・県内の祭り・地域の郷土芸能の特色を説明するオンデマンド教材を作成した。ここでは、総合学習で地域の特色を調べるための5つのポイントを示している。子どもたちが見通しを明確に学習を進められるように工夫した。

2) 「祭り・芸能」のポータルサイト

子どもが「祭り・芸能」を自主的に調べ学習を進めることができるように、「各地の祭り」として、世界、日本、東北地方の祭りのサイトをポータルサイト化した。

3) 福島県の祭りのデータベース化

「ふくしま教育データベース」を活用し、各地域の祭りが調べやすいように、民俗芸能のテキストを作成した。これは、祭りの種類に応じて学習が進められるようになっているだけでなく、印刷しテキストとして活用できるようにした。

4) 参加校の交流

参加校に比較的小規模な学校を選定して、子どもたちの交流学習ができるように、掲示板を構築した。また、互いの学校の地域性を理解できるように、学校のWebサイトのアドレスを掲載した。

5) 相互学習と指導担当者の連携

専門家への質問、相互学習、指導者間の情報交換のため、3種類の掲示板を設置し、双方向的交流を支援した。また、モデル校の調べ学習には、担当指導主事が参加し、調べ学習の様子をWebサイト「学習の様子」により交流できるようにした。

3. 成果と課題

○ITを活用したWebサイトにより、多くの学校に対して、専門性の高い実効性のある授業支援を展開することができた。比較的小規模な学校では、同じテーマによる調べ学習や体験学習を互いに共有し、多様な見方や考え方に接することができた。特に、学習のまとめにおいては、学校行事との連携を図り、調べた学習内容の発表を地域の人々に行ったり、祭りの再現を行ったり、Webコンテンツとして発信したり、といった学習の広がりが見られた。また、学校間での自主的な情報交換やTV会議などでの交流への発展も見られた。

○専門家による専門性の高い指導は、できるだけわかりやすい言葉で行っていただいたが、どうしても難しくなりやすく、子どもたちには理解するのが難しかったという課題も見られた。また、学校間の交流学習をコーディネートするには複数校の日程を調整する必要があり、Webサイトによるオンデマンド性の便利さが減少されるといった欠点も見られた。

○今回開発された教材や各学校が取り組んだ学習過程やまとめはWebサイトにまとめられ、総合的な学習の時間の実践モデルとして、他の学校へのモデル資料としていきたい。